

# 目次

I. 2016年における環境問題をめぐる動き	1
II. 運輸部門における主要な環境問題の現状	2
1 地球環境問題の現状	2
(1) 地球温暖化問題の現状	2
(2) 気候変動枠組条約と京都議定書、パリ協定	5
(3) 我が国における地球温暖化問題の現状	8
(4) 運輸部門における地球温暖化問題の現状	10
(コラム：世界各国の自動車普及率)	14
2 自動車の排出ガス問題の現状	15
3 廃棄物・リサイクル問題の現状	17
III. 運輸部門における主要な環境問題への対策	20
1 地球温暖化対策の推進	20
(1) 運輸部門における対策	20
(コラム：トラックの運行データを活用したエコ・安全運転支援サービス)	25
(コラム：エコタイヤ)	26
(コラム：宅配便の再配達削減に向けた取り組み)	32
(コラム：カーシェアリングによる環境負荷低減効果)	42
(2) 省エネ法に基づく取り組み	43
(3) 国際海運・航空分野における対策	45
(コラム：国内外の排出量取引制度)	46
2 トラック・バス（ディーゼル車）等の排出ガス対策の推進	47
(1) ディーゼル車の排出ガス対策の推進	47
(2) 適切に整備された車両の使用と適正な燃料使用の指導	49
3 環境対応車の普及促進に向けた取り組み（車体課税の見直し）	49
4 循環型社会の構築	51
(1) 循環資源物流システムの構築	51
(2) 自動車リサイクル制度の構築	52
(3) 船舶のリサイクル	53

<b>5</b>	<b>自治体、事業者、市民団体等の取り組み</b> .....	54
	(1) 自治体の取り組み.....	54
	(2) 事業者の取り組み.....	57
	(3) 市民団体の取り組み.....	65
	(コラム：全国バスマップサミット（市民によるバスマップの取り組み））.....	66
	(4) エコモ財団の取り組み.....	67
<b>IV</b>	<b>その他の環境問題への対策</b> .....	78
<b>1</b>	<b>騒音問題への取り組み</b> .....	78
	(1) 自動車における騒音対策.....	78
	(2) 鉄道における騒音対策.....	79
	(3) 航空における騒音対策.....	79
<b>2</b>	<b>海洋汚染への対応</b> .....	80
	(1) 大規模油汚染対策.....	80
	(2) バラスト水中の有害水生生物問題への対応.....	80
<b>3</b>	<b>船舶からの排出ガス対策</b> .....	81
<b>4</b>	<b>化学物質対策</b> .....	82
	(1) ダイオキシン類問題等への対応.....	82
	(2) 内分泌かく乱化学物質対策.....	82
	(3) アスベスト問題への対応.....	83
	(4) PRTR制度.....	83
<b>5</b>	<b>オゾン層破壊防止</b> .....	84
<b>6</b>	<b>地球環境の観測・監視</b> .....	87
	(1) 気候変動の観測・監視.....	87
	(2) ひまわり8号・9号.....	88
	(3) 海洋の観測・監視.....	88
	(4) オゾン層の観測・監視.....	89
	(5) 南極における定常観測の推進.....	89
	(コラム：国土交通省の気候変動への適応策).....	91